こころと身体 Soteria GMC

札幌市北区篠路

五稜会病院 広報誌第68号

令和２年晩秋～冬

晩秋の五稜会病院の風景です。銀杏が黄色くなっています。10年、20年後には、もっと木が大きくなって建物を隠してしまうかもしれません。

コロナの流行の歯止めがかかりません。当院でも、10月末に入院患者さんが1名、コロナ陽性になりました。幸い、迅速に札幌市立病院に転院となり、その後の経過もよく退院されています。当時は、現在（11月末）のようにコロナ陽性患者の人数も多くなかったので、転院もスムースに行きました。現在は、医療体制が逼迫したような状態で、12月4日付けの、札幌市長、札幌市医師会、北海道病院協会からの通達では、「自院において、入院が必要な患者(入院中の患者を含む)の陽性が判明した場合に備え、継続して入院対応が可能な体制を整備してください。」との緊急要請がありました。

五稜会病院としては、クラスター発生病院や介護施設への人的支援（応援ナース）を行って参りました。医療情勢が逼迫している状況のなか、コロナ陽性者が出た場合に備えて、精神症状があり、入院が必要な軽傷者に限っては自院で対応できるような体制を構築していく所存です。

医療法人社団五稜会病院理事長・院長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切にした医療を行う。
3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会･研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽しております。今年も例年通り、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加していきたかったのですが、延期・中止が続いています。

御　案　内

今年は、大きな学会が軒並み中止となっています。

Web講演会・研究会は、実際に参加してみると、意外にも楽だったりしますが、会の後の情報交換会がないので、他の精神科の先生と面と向かってのやりとりがないのが寂しい限りです。

来年度の学会に向けて、発表のテーマを温めているところです。

製薬会社関連の研究会・社内勉強会

感染対策を行った上で、研修会の依頼を受けています。

★ﾛｷｾﾝﾃｰﾌﾟ発売１周年記念講演会in 札幌LIVE配信
（大日本住友株主催）
令和2年10月29日　座長：中島公博

★不眠症診療Web講演会（Ｉ-ｻﾞｲ株主催）
令和2年11月20日　座長：中島公博

★社内勉強会（吉富薬品株主催）
令和3年1月21日
「最新の精神科医療の話題
～五稜会病院での実践を中心に～」　中島公博

論文・エッセイのご紹介

「ゲーム依存・スマホ依存・ネット依存」　中島公博
札幌市学校医協議会だより　2020

中島公博が学校医表彰を受けた記念のエッセイです。

「北大第二外科10年、精神科27年」　中島公博
北大第二外科同門会報　46号2020年

「心身医学を専門とする医師に知ってもらいたいこと-特に，認知行動療法の立場から」　坂野雄二
心身医学60,2020

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

最近の精神科医療政策のご紹介

★新型肺炎コロナウィルス（COVID-19）★

当院１病棟で、コロナ陽性患者発生

令和2年10月末、当院第1病棟で入院患者さんがコロナ陽性と認定されました。直ちに保健所と連携して対策を協議し、陽性者の指定入院医療機関への転院と濃厚接触と判断された患者さんと職員の複数名のPCR検査を実施しました。全員が陰性でした。

11月末には、コロナの第3波となり、札幌市内でも多数の陽性者が出ています。医療機関としての責務を果たすべく、感染予防を徹底したいと存じます。

五稜会病院からクラスター発生病院、介護施設への応援ナース派遣

コロナでクラスター発生が後を絶ちません。札幌市内の病院や介護施設でも、数カ所のクラスターが確認されています。患者さんがコロナ陽性になった場合、密に関わった職員は濃厚接触者と判断されて最大2週間の自宅待機になります。濃厚接触者は数名になりますので、その間はスタッフ数が減ってしまい、少ない人員で業務に当たらないとなりません。

五稜会病院では、北海道の「新型ロロナウイルス感染症対策に係る医療従事者等派遣事業」(COVID-19支援ナース事業)に登録し、これまでに、4名の看護師がクラスター発生病院と介護施設に応援に行っています。それに止まらず、現地で学んだ感染症対策を当院での感染予防につなげています。

※**『濃厚接触者』**とは、「患者（確定例）」が発病した日以降に接触した者のうち、近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（１ｍ程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

「濃厚接触者」については、速やかに陽性者を発見する観点から、検査対象者とし、PCR 検査を実施します。 陰性だった場合にも、濃厚接触者は「患者（確定例）」の感染可能期間の最終曝露日から 14日間は健康状態に注意を払い、自宅待機となります。この際、健康観察期間中に何らかの症状を発症した場合には検査を直ちに実施します。

「無症状病原体保有者」の濃厚接触者についても健康観察の対象者とし、「陽性確定に係る検体採取日」の2日前からを感染可能期間として、入院等されるまでの期間に接触した者を濃厚接触者とします。検査についても有症者の濃厚接触者と同様の対応です。

当院は患者さん本位の医療を提供しようと考えております。
お気づきの点はご相談下さい。

治験のご協力のお願い

現在、当院では「うつ病」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

うつ病（成人）

抑うつ気分、興味喜びの喪失感等の症状があればうつ病の診断になります。抗うつ剤を使っていても効果がない場合に、補助として抗精神病薬を加えると改善することもあります。

IRB（治験審査委員会）

治験を実施する際に、倫理性に問題がないか、治験参加者の「人権」と「安全性」に問題が無いかなど、治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する組織です。五稜会病院では、月に1回開催しています。

五稜会病院　概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数　193 床
- 急性期病棟　48 床
- ｽﾄﾚｽｹｱ・思春期病棟　48 床
- 療養病棟 A　49 床
- 療養病棟 B　48 床

従業員数　約 200 名

医師数　常勤	８名	非常勤	５名
看護師	71名	准看護師	10名
薬剤師	2.5名		
臨床検査技師	１名	非常勤	４名
臨床心理士	９名	（公認心理師	８名）
作業療法士	10名	ｽﾎﾟｰﾂｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	５名
精神保健福祉士	10名	管理栄養士	２名

五稜会病院沿革
- 開　設　昭和47年（1972年）
- 医療法人開設　平成２年（1990年）

編集後記

今年は、コロナコロナで1年が終わりそうです。当院でも感染予防を徹底的に行っていますが、いつ何時、コロナ陽性者が出るとも限りません。毎日がヒヤヒヤの連続です。早く、終わって欲しいものです。(K.N)

発行：令和２年 11 月 25 日
〒 002-8029
札幌市北区篠路９条６丁目２－３

こころと身体のクリニック
医療法人社団
五稜会病院

発行責任者：広報委員　竹原幸佑・中島公博
電話：011-771-5660
http://www.goryokai.com
mail：GMC@goryokai.com

単身住居「ハイクⅡ」のご紹介

食事付グループホーム「ハイクⅠ」に続けて、2018年12月より、単身住居型の『ハイクⅡ』を開設しています。全11部屋で、リビング8．5畳のワンルーム（ユニットバス・トイレ・洗面台付）になっています。

一部の壁紙の色が、癒しの黄緑や気分が上がるピンクなど、居室によって異なっています。冷暖房用のエアコン・クローゼット・シューズボックスを、全居室に完備しています。家賃は月額36，000円と管理費（町内会費、防犯システム、除雪・清掃料など）5，000円です。テレビ・洗濯機・冷蔵庫はレンタルもしています。また、入居の際には敷金として、50，000円いただきますが、退去時に敷金から清掃料をいただきますので、一般のアパート・マンションのように、清掃料はかかりません。

『将来一人暮らしを目標としている方に！』

入居者の方には、当院の訪問看護や、デイケア通所をお勧めしております。一人暮らしの不安など相談できる環境で始めてみてはいかがでしょうか？また、10月より体験入居も開始しました。1泊2日で料金は、2，000円（光熱水費込）となっております。興味のある方、気になっている方、是非お問い合わせください。

12／14現在、空室がありますので、居室内の見学ができます。通院中の方は、主治医又は、スタッフにご相談ください。

コンシェルジュのご紹介

《外来コンシェルジュ》

外来診療では、初めて受診される方の不安を軽減できればと考えております。また、診察までの待ち時間を少しでも負担を少なく過ごして頂きたく日々考えております。

（自動受付機の導入）

1月より、自動再来機と診察待ち状況をアプリでご案内できるシステムの導入の準備を進めております。

新型コロナによる、皆様の不安と安全を配慮し、少しでも、安心して診療を受けて頂けるよう努力して参ります。

《病棟コンシェルジュ》

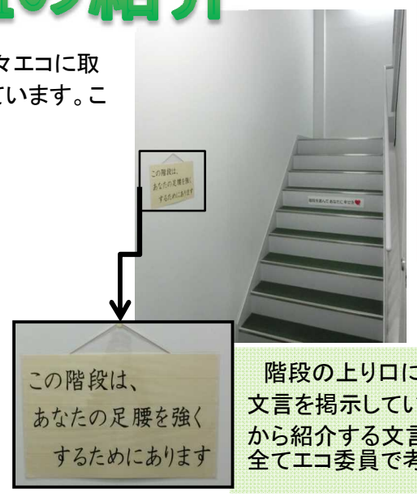
ストレスケア・思春期病棟では、患者さまが安心して入院治療を受けて頂きたく入院生活の総合的なお世話をする為、専属の病棟コンシェルジュを配置しています。

主な仕事は、快適な療養空間の演出などアメニティー面での充実、入院生活に関する説明、忘れ物の管理、医師や看護師、コメディカルに用事がある際の橋渡しなど、様々なサポートをしています。

現在は、感染対策により、病棟内での面会・外出など制限が厳しくなっているため、少しでもリラックスできる環境になる様努力して参ります。

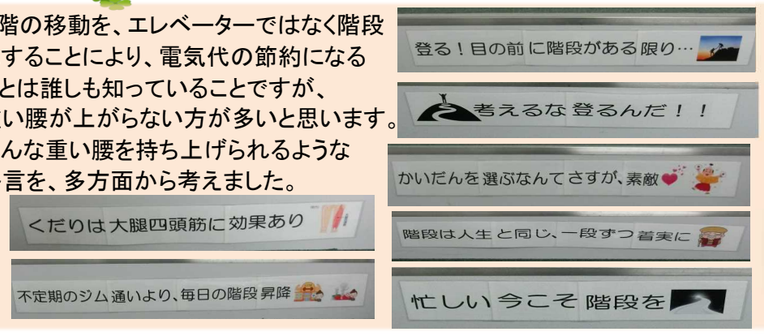
エコ委員会より取組の紹介

当院には「エコ委員会」という、病院・地域、果ては地球の為に、日々エコに取り組んでいる委員会があり、さっぽろエコメンバーにも選定いただいています。ここでは、当院でのエコ活動の一例を紹介します。



階段の上り口にこのような文言を掲示しています。これから紹介する文言は、全てエコ委員で考えました。

階の移動を、エレベーターではなく階段にすることにより、電気代の節約になることは誰しも知っていることですが、重い腰が上がらない方が多いと思います。そんな重い腰を持ち上げられるような格言を、多方面から考えました。



これらのような格言が、右の写真のように掲示されています。階段を上る毎に、辛い・しんどい・面倒くさい気持ちが、達成感に変わります。ただ達成感を得られるのではなく、同時に「健康」も手に入れられる“かも”しれません。

（栄養と休養もお忘れなく… エコ委員メンバー一同）

さっぽろ エコメンバー